

移動市長室

山家岩戸神楽保存会

―地域に根差した伝統文化の継承について―

通算78回目となる移動市長室を、3月22日(木)に開催しました。山家岩戸神楽保存会(保存会)と懇談を行い、10人の出席がありました。

●問い合わせ先 秘書広報課



市指定無形民俗文化財である山家岩戸神楽は、山家岩戸神楽保存会により継承、保存されています。保存会の現在の会員数は20人、毎年10月17日の山家宝満宮への神楽奉納をはじめ、伝統文化の継承や後進の育成に努める活動を行っています。現在、命割(演目)は、全18番のうち13番が奉納されています。懇談では、保存会の成り立ちや現在の活動状況などの報告を受け、意見交換を行いました。



歴史と伝統を受け継ぐ

山家岩戸神楽は、山家宝満宮に伝わるもので、国家安泰や五穀豊穡を願い、宮座の日にあたる毎年10月17日に奉納されます。その起源は古く、弘治3年(1557年)には奉納されていたという記録が残っています。かつては神職だけが舞っていましたが、明治以降は維持が困難になり、山家岩戸神楽社として宮座で継承してきました。戦中・戦後、継承者の高齢化や衣装・道具の老朽化などで存亡の危機があったものの、昭和49年に神楽面の奉納があったことをきっかけに継承を決め、現在に至ります。筑紫野市唯一の郷土芸能であることから、昭和51年4月16日に市無形民俗文化財に指定されました。平成4年に神楽社から現在の保存会に改組し、山家住民から広く会員を募集することとしました。

小学生も学び、舞う

地元の山家小学校では、地域の伝統文化を学ぶため神楽の勉強をしています。したが、平成14年ごろから創作神楽に

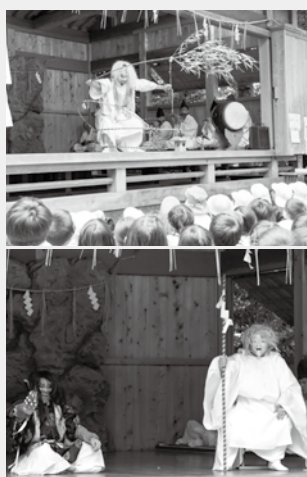


取り組むようになり、保存会が舞や道具作りの指導を行ったこと、平成17年には小学校のクラブ活動として山家岩戸神楽クラブが開設され、その指導を行うようになったこと、学ぶだけでなく学習成果発表の場として10月17日の奉納を神楽クラブの児童が行うようになったことなどの報告がありました。

さらに、平成26年度から長崎街道筑前六宿子どもサミットに山家小学校が参加、各校が郷土の歴史や祭りを紹介する中で山家小学校では神楽を発表し、保存会がそれらの支援をすることで神楽クラブの児童以外にも伝えることができているとの報告がありました。

山家岩戸神楽

毎年10月17日に山家宝満宮(市内山家2684-1)で奉納されます。



地域に広める活動も

平成20年から小学3年生社会科で伝統文化の継承を伝える授業として山家小学校以外の小学校にもゲストティーチャーとして指導に行くようになったこと、長年にわたる活動により平成28年度には福岡県青少年健全育成対策推進本部長顕彰を受賞したことなどが紹介されました。

神楽への思いを交流しました

神楽クラブから継続参加している中学生の会員からは、「地域の文化である神楽をやってみたいと思った」「神楽を舞った後、上手だったとほめてもらえるのがうれしい」「夜の練習は塾などもあるが大変だったけど、やさしく指導してくれて楽しかった」「大人と一緒に活動することで学ぶことも多いし、小学生の指導をすることで自分のためになった」などの発言がありました。その他にも、「親がやっていたのを

見ていて自分も関わるようになったが、日々勉強である」「山家を離れたとしても、山家には神楽があつて友人が続いているという認識を持つてもらえるようになればうれしい」「三世代にわたる会員が一つのことに向かって取り組むのが楽しい」「神楽奉納は季節の風物詩であり、それを地域で見守って応援する一体感がある」など、たくさんの方の意見を聞くことができました。

最後に、市からの施策報告として、予算や第五次総合計画の事業についての報告と山家が長崎街道や宝満山への祈りの道として物心両面で交通の十字路であったという歴史的な解説などを行い、出席者で認識を深めることができました。

懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

- ・市長さんに神楽のことを理解していただき、また私たちにとっても今までの活動を再認識したいい機会になりました。
- ・山家は歴史が長いところなので、神楽のことを伝えていけたらいいなと思いました。

藤田市長の一言

歴史、文化を地元ですつと保存しながら守り続け、そして、後世に継承していく努力が皆さんの心の中にしっかりと根付き、育ててきていただいているという様子がよく分かりました。今、取り組みを行っているコミュニケーションの中には、地域の大切に行っている思いを大事にさせていただきながら、発展に結びつけていくような行政を進めていきたいと感じました。

皆さん方の貴重な経験の中から、山家に長く伝わる山家岩戸神楽の文化や思い、心についてのお話を聞かせていただいたことに心から感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

